

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米国関係
（議員等発言(2)（講演、記者会見等）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840

マシー 上院外交事務局長内話 (昭四五・五・二六)

ソカヒ 万大 傳阪

女政事外外儀官
務務 典房
次次
巨官官審審長長
係係入電厚計
係係文會當給
国資長領移長
参領旅移

ア 参地中東
長 北東西
米 参北北保
中 参一
南 参西東洋
長 西東

近 参書近ア
長 次総経国万
参實統
参政技二
長 国一理
参参協
長 参政経科
参道内外
長 文長

file 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 25669
70年5月26日20時10分 米 国 発着
70年5月27日09時28分 本 省 着

主管 米北

外務大臣殿 下田大使 臨時代理大使 総領事 代理

米国の外交（上院外交委筋内話）

第1556号 極秘 至急

26日上院外交委員会マシー事務局長はキウチ及びサトウに対し、カンボディア問題をめぐる上院の動き等につき次のとおり述べた趣。

1. カンボディア作戦は成功しているとの行政府の説明には、フルブライト、マンスフィールドはじめ外交委員会の議員は全然コンヴィンスされていないどころか、米国がますますインドシナ紛争にインヴォルヴしてゆく以外のなにものでもないとの確信を深めている。本日午後票決に付せられるクーパー・チャーチ案の前文なるものは大統領の権いに対する考慮を示したものであるが（当館注、往電第1557号のとおり本件は82対11で可決された）、何の意味もないものであり、上院が問題にするのは前文に続くクーパー・チャーチ案の字くであることは申すまでもない。クーパー・チャーチ案が上院で多数をもつて可決されることは間違いなく、その後上下両院協議へ持ち込まれても上院が下院に妥協して本件決議案を廃案にすることはまず

外務省

極秘 46

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

考えられないところである。上院外交委としてはカンボディア作戦の意義を認めず、カンボディアから早急に撤兵し、ヴィエトナムからの早期撤兵の体制をかためるべしとの論戦を引き続き展開してゆく意向である。なおローウエンジュタイン外交委スタッフのカンボディア視察報告は近く公表される予定であるが、米国がカンボディア支援のそぶりを見せれば見せるほどカンボディアの対米依存心が強くなり米国はのつびきならない状況に追いやられることになりかねないので早期に撤兵すべきであるというのが同報告書の結論である。

2. 外交委員会のロジャース長官に対する心証は同長官のラオス問題をめぐる証言以来決定的に悪くなった。同長官は人がらがよく、フルブライト議員もゴルフを共にたのしんだりしており、けんかをする間がらではないが、外交問題を適確に処理し得る人物とは見ておらず、租税条約等の如き事務的な問題で外交委に出入りすることはあつても、ヴィエトナム、カンボディア等重要外交政策について同長官の意見をちよう取すべく外交委の証言に出席を求める積りはまつたくなないので最近の状況である。

3. 一度決定されたオキナワよりオレゴン州へのどくガス

-2-

外務省

極秘

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

移送計画が撤回されたのはまことにしゅう態である。カンボディア出兵でかぜ当りの強い国防省は本件をめぐる不手際でそのい信はますます低下したとみられる。

11)